

入院の子どもたち × MAYA MAXX

ハッピーカラープロジェクト



【南風原】入院の子どもたちと画家のMAYA MAXX(マヤ マックス)さんが一緒に絵を



画家のMAYA MAXXさん(右)と自由に絵を描き込む子どもたち4日、南風原町の県立南部医療センター・こども医療センター

自由なお絵描きに笑顔

描く、「ハッピーカラープロジェクト」が4日、南風原町の県立南部医療センター・子ども医療センターであった。このプロジェクトは日本各地で開催されているが、県内では初めて。

小児病棟の子ども約15人、県立芸術大学の学生らが縦約1枚、横約4枚の画用紙に絵を描き込んだ。MAYAさんがクレヨンで大きな魚を描くと、子どもたちは筆などを使い、赤、緑、黄色などの絵の具を塗っていた。

始めは戸惑っていた子どもも、慣れるにつれ、手のひら、足の裏に絵の具を塗り、手形、足形をつけるなど自由な「お絵描き」に笑顔を見せた。MAYAさんは「スポーツは体力差もあって難しいところもあるが、色を塗ることは誰でもできる。この一瞬を楽しんでもらいたい」と話した。